

## 平成 30 年度第 1 回三者協議会 開催結果

日 時：平成 30 年 10 月 16 日（木） 午後 4 時 00 分～午後 5 時 00 分

場 所：上口保育園 遊戯室

出席者：竹千賀子委員、神田好美委員、新みゆき委員、飴谷あゆみ委員、  
江島真由美委員、高瀬ゆかり委員、高縁真穂委員、  
石崎アドバイザー  
矢田民生部長、事務局（こども課長、こども課保育係長、同指導主事）

欠席者：四十万真由美委員、和田真由美委員

1 開会（こども課長）

2 あいさつ（民生部長）

3 委嘱状交付

4 委員紹介（事務局より）

5 会長及び副会長選出

会長：上口保育園 竹千賀子

副会長：上口保育園 保護者会 江島真由美

6 協議事項

(1) 引継ぎ・共同保育について（別紙資料に基づき説明）

（アドバイザー）

提示された引継ぎ・共同保育計画の案は、ざっくりしすぎている。

（事務局）

どこまで出来るか H30 年度に交流事業を実施するなどし、状況をしっかり把握し H31 年度の計画（案）に盛り込んでいけばよいと考えている。交流事業というのは、あくまでも引継ぎ・共同保育等計画（案）の中に盛り込んでいくものと考えている。

（アドバイザー）

毎日登園してきてから子どものやることはそれぞれ園で違うと思う。生活習慣を同じようにしていくには、もっと細かな計画案を立てないといけないのではないかと。

（事務局）

その点は引継ぎ保育をしっかりやって、日頃の保育状況をお互いに見るなどして、交流していこうと考えている。

（アドバイザー）

上口保育園から住吉保育園、住吉保育園から上口保育園を見て、生活習慣など、両園で洗

い出して項目をあげたほうがよいのではないか。

(事務局)

両園保育士同士で交流して意見交換をして進めていくことが、まずは大切だと考えている。

(アドバイザー)

どういう手法があるのか項目をあげたらよいのではないか。

(竹委員)

保育士全員が行くのは困難ですが、お互い職員が見学してみて、園に戻り、保育士に伝え、どちらの保育の方法がよいのか検討していき、いずれは一本化していけばよいのではないかと思う。

(事務局)

計画案の文書から読み取るのは難しいかもしれませんが、コミュニケーション、話し合いを重ねていくことが大事だと思う。

(部長)

4～11月というのは、結構長いスパンだと思うので、話し合いを重ねていくことでクリアできるものがあると思う。「引継ぎ・共同保育等会議」を月1回開催するなど情報交換し、その結果を保護者さんに提供していけると思う。

(神田委員)

対象職員は限定せず、全保育士が共同保育に携わっていけるよう、法人としては、魚津保育園と魚津第二保育園の職員も協力してスムーズにやっていきたいと思っている。

(事務局)

今回提示している計画案は、一般的に言えることを掲載したものになっていると思うので、当事者である魚津保育会の上口保育園長として内容のボリュームや頻度等についてご意見お聞かせいただけませんか。

(竹委員)

職員にこの引継ぎ・共同保育等計画案を見せたところ、正直、こんな大変なことをしなければならぬのかという思いと、これだけしなければいけないという理解をしたところです。住吉保育園と上口保育園の子ども達が仲良く、職員も一緒にしていけないと理解しました。

(高瀬委員)

4月～11月の週1回程度というのは、子どもの交流をということですか。4月・5月は子ども達も新しい生活に慣れるのに一生懸命で、交流するまでは難しい。第1段階として先生方が行き来し、その後、子ども達の交流ということでもよいのでしょうか。

(事務局)

4月・5月は困難だということは想定しています。状況に応じて、どのようなやり方がやりやすいかご意見いただきたい。

(高瀬委員)

H32. 1月以降の週5日程度というのも困難ではないかと思う。週3～4日程度なら可能

ではないかと思う。3月などは行事も多く、子ども達に負担にならないようにしたい。

(事務局)

建設予算(補助金)の面からお話すると、国の予算状況を考えると、H31.4月実施設計となると6月に内示で9月頃からの建設となりH32.3月中旬の園舎完成になる。実際、引越し等のことも考えるとH32.2月末までに園舎の完成をしたいと思うので、実施設計を今年度中の2~3月あたりで、4月内示となるよう早く進めていきたいので、県には予算措置等の確認をしていきたいと思っている。

(アドバイザー)

自分が上口保育園に通っていたので、今の園舎が出来たときは、年明けに新しい園舎が出来て、何度か遊びにくる機会があり、卒園式のみ新園舎でした記憶がある。

(事務局)

新しい園舎を体験していただくためにも少しでも早めに完成することが大切なので、予算等については県と協議していきたい。また、住吉保育園は、現園の隣で建設が始まりますが、H32.3月31日までは運営していくこととなります。H32年度の予定ですが、旧住吉保育園の園舎の解体を4月から始めまして、7月の園の行事等に間に合うように園庭の整備をしたいと思っている。H32.4月からは新たに認定こども園化としての運営が始まりますので、上口保育園さんも慣れないことが多いとも思います。市が積極的に、園の不安、保護者さんの不安等に関わっていこうと考えている。

(2) 今年度の両園の交流事業について(別紙資料に基づき説明)

(竹委員)

上口保育園は、ひなまつりは祖父母を招待して行っているし、今年度、今から園の計画している行事を変更することは難しいので、提案していただいている中では、雪遊びなら出来るように思う。

(3) その他

(アドバイザー)

職員体制はどうなっていくのか。

(事務局)

H32年度は、市の保育士を上口保育園に派遣したいと考えている。長くて1年で、担任を補佐する者1~2名と想定している。H31.4月の人事異動はH32年度を想定したものになる。

(アドバイザー)

大部分の子どもは、すぐに慣れて大丈夫かもしれないが、そうでない子もいると思うが、何年かにわたって派遣し徐々に人数を減らしていくとかではないのか。

(事務局)

もともと毎年担任は変わるので、そこまでの対応は要らないと考えている。

(高瀬委員)

住吉保育園の保護者説明会では、住吉保育園の保育士が1年派遣されることは説明済みで了承されていると思う。

(アドバイザー)

上口保育園の保護者さんにも周知していただきたい。

(事務局)

今後、この三者協議会の開催状況につきましては、市こども課のホームページでの掲載、両保育園の園だよりへ掲載するなどし、広く両保育園の保護者の方々・地域の方々にも情報発信・情報提供を行っていきたいと考えておりますので、委員の皆様方には、ご理解を賜りますようお願いいたします。

#### 7 委員からの意見徴収（事務局から）

来年度の計画や予算に盛り込むため、委員全員から11月9日（金）正午までに市役所こども課までご意見いただきたい。

#### 8 次回開催について

日時：12月18日（火）午後3時から（約1時間～1時間半程度）

場所：住吉保育園 遊戯室

#### 9 閉会（こども課長）

三者協議会の開催状況、資料、議事録及び11月9日までにいただいたご意見を市ホームページにアップしていきます。

各園におきましては、園だよりに一定の枠を設け、保護者さんに情報提供をお願いします。

終了 17:00